開始事件 事件番号　平成　　年（家）第　　　　　号　【 本人氏名：　　　　　　　　　　　　】

完成したら，裁判所に提出する前にコピーを取って，次回報告まで大切に保管してください。

後見等事務報告書

（報告期間：平成　　年　　月　　日～平成　　年　　月　　日）

平成　　　　年　　　　月　　　　日

住　所

□成年後見人

□保佐人

□補助人　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

電話番号

携帯電話番号

１　本人の生活状況について　（全員回答）

(1)　前回報告以降，本人の住居所に変化はありましたか。

　□　変わらない　　　□　以下のとおり変わった

　　（「以下のとおり変わった」と答えた場合）変わったことが確認できる資料（住民票，入院や施設入所に関する資料など）を本報告書とともに提出してください。

【住民票上の住所】

【実際に住んでいる場所】（入院先，入所施設などを含みます）

(2)　前回報告以降，本人の健康状態や生活状況に変化はありましたか。

　□　変わらない　　　□　以下のとおり変わった

２　本人の財産状況について

**（後見人，財産管理に関する代理権が付与されている保佐人・補助人のみ回答）**

(1)　前回報告以降，定期的な収入（年金，賃料など）に変化はありましたか。

　□　変わらない　　　　□　変わった（増えた，減った）

　　（「変わった」と答えた場合）①変わった理由は何で，②変わった後の金額はいくらですか。以下にお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

　　(理由)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(金額)

(2)　前回報告以降，１回につき１０万円を超える臨時の収入（保険金，不動産売却，株式売却など）がありましたか。

　□　ない　　　□　ある

　（「ある」と答えた場合）その①内容と②金額はどのようなものですか。以下にお書きください。

また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

　　(内容)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(金額)

(3)　前回報告以降，本人が得た金銭は，全額，今回コピーを提出した通帳に入金されていますか。

　□　はい　　　□　いいえ

　　（「いいえ」と答えた場合）①入金されていないお金はいくらで，②現在どのように管理していますか。また，③入金されていないのはなぜですか。以下にお書きください。

　　(金額) 　　　　　(管理方法)　　　　　　　　　　(理由)

(4)　前回報告以降，定期的な支出（生活費，入院費，住居費，施設費など）に変化はありましたか。

　□　変わらない　　　　□　変わった（増えた，減った）

　　（「変わった」と答えた場合）①変わった理由は何で，②変わった後の金額はいくらですか。以下にお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

　　(理由)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(金額)

(5)　前回報告以降，１回につき１０万円を超える臨時の支出（医療費，修繕費，自動車購入，冠婚葬祭など）がありましたか。

　□　ない　　　□　ある

　　（「ある」と答えた場合）その①内容と②金額はどのようなものですか。以下にお書きください。

また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

　　(内容)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(金額)

(6)　前回報告以降，本人の財産から，本人以外の人（本人の配偶者，親族，後見人自身を含みます）の利益となるような支出をしたことがありますか。

　□　ない　　　□　ある

　　（「ある」と答えた場合）①誰のために，②いくらを，③どのような目的で支出しましたか。以下にお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

　　(相手) 　　　　　　　(金額)　　　　　　　　　　(目的)

３　同意権・取消権について　（保佐人，補助人のみ回答）

(1)　同意権を行使しましたか（今後，行使する予定がありますか）。

　□　行使していない（予定していない）　　　□　行使した（予定がある）

　　（「行使した（予定がある）」と答えた場合）その時期と内容はどのようなものですか。以下にお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

(2)　取消権を行使しましたか（今後，行使する予定がありますか）。

　□　行使していない（予定していない）　　　□　行使した（予定がある）

　　（「行使した（予定がある）」と答えた場合）その時期と内容はどのようなものですか。以下にお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

４　あなたご自身について　（全員回答）

次の(1)から(3)までについて，該当するものがありますか。

(1)　他の家庭裁判所で成年後見人等を解任された

　　□　該当しない　　□　該当する

(2)　破産者で復権していない

　　□　該当しない　　□　該当する

(3)　本人に対して訴訟をしたことがある者，その配偶者又は親子である

　　□　該当しない　　□　該当する

５　その他　（全員回答）

(1)　前回報告以降，①遺産分割，②訴訟提起又は調停申立て，③相続放棄の申述，④不動産の処分（売却，購入，賃貸，抵当権設定）は行いましたか。

　□　行っていない　　　　□　行った

（「行った」と答えた場合）いつ，何をしましたか。(2)にお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

(2)　上記報告以外に裁判所に報告しておきたいことはありますか。

　□　特にない　　　　□　以下のとおり

※　□がある箇所は，必ずどちらか一方の□をチェック（レ点）するか，又は塗りつぶしてください。

※　報告内容に問題がある，必要な資料が提出されないなどの場合には，詳しい調査のため弁護士や司法書士などの後見人等を選任することがあります。